

大石地区将来ビジョン

令和5年4月現在

①地区の特性

大石地区は旧春江町の北西部に位置し、北東は兵庫川、南は磯部川、西は九頭竜川と、3本の川に囲まれた米作りの盛んな地域である。えちぜん鉄道西長田ゆりの里駅には県営駐車場も整備され、パークアンドライドの拠点になっている。

約50年前から水田を埋め立て宅地造成がなされ、全17行政区の内3区は新たにできた行政区であり、全人口の3割以上がこの3区でしめている。それ以外の区においても、大小さまざまな宅地造成が行われ、旧集落と新団地が同居する区となっている。

その他、特出することは下記のとおり。

- ・坂井平野（稲作・転作（麦・大豆等）が中心 肉牛舎2軒）
- ・ゆりの里公園（ゆりの里公園将来ビジョン）
- ・大型農業ハウス（いちご・ぶどう） 体験型観光
- ・伝統野菜 白茎ぼごう → 絶滅寸前
- ・木部輪中
- ・文化財（汗かき地蔵・オニヒバ・板碑・石造六重層塔・岩座・銅鐸 他）
- ・工場（川鑄・長田工業所・大東工業・ジェイデバイス・第一ビニール・木下工業・第一テッコウ商事・新江州北陸 他）
- ・令和元年、コウノトリが地区内の電柱に巣をつくり、4羽のヒナが巣立った

②人口・世帯数

	H12	H17	H22	H27	R2
人口	3,709	4,071	4,202	4,162	4,150
世帯数	963	1,138	1,217	1,277	1,371

坂井市の中で旧春江町は人口が増えている唯一の町であるが、大石地区はH22年を境に減少に転じている。しかし、減少数はH22年から10年間で52人、率にして1.24%の減であり、ほぼ横ばいとも言える。

その反面、世帯数は10年間で154世帯、率にして12.65%増加しており、核家族化が進んでいると考えられる。

安心安全部会の調査では、現在の生産人口が老人人口を支える比率（負担率）は0.6で、最大の区においても1人の生産人口が1人の老人人口を支えることになっている。

③課題（WSで出されたキーワード）

- ・通学路
- ・サイクリングロード
- ・少子高齢化
- ・若者の参加
- ・結婚
- ・子どもの遊び場
- ・コウノトリ
- ・ゆりの里公園
- ・歴史、地元を知らない
- ・地域組織の衰弱
- ・営農等の後継者不足、持続困難
- ・

④アンケート調査（赤字：30%以上）

- ・住みよさ ①どちらかといえば住みよい(62%) ②住みよい(27%)
- ・誇りや愛着 ①やや感じる(55%) ②あまり感じない(19%)
- ・地区の自慢 ①自然環境や風景(34%) ②ゆりの里公園(33%)
- ・暮らしづらさ ①公共交通が不便(23%) ②買い物・用足しが不便(22.6%)
- ・望む将来像 ①健康で安心(24.8%) ②便利で快適(24.1%)
- ・コミュニティ ①気軽に参加(18.0%) ②若者の活躍(15.8%)
- ・環境美化 ①清掃活動(20.5%) ②空き家空地対策(20.1%)
- ・防犯防災・交通安全 ①豪雪対策(17.1%) ②カーブミラー(16.0%)
- ・福祉・育成 ①送迎・買い物代行(17.1%) ②災害時支援(12.5%)
- ・健康づくり ①健康診断普及啓発(14.6%) ②ウォーキング(14.6%)
- ・産業対策 ①農業の維持管理・担い手(29.0%) ②企業誘致(22.6%)
- ・教育文化 ①学校との連携(21.3%) ②社会教育・生涯学習(18.3%)
- ・まち協
活動の参加方法がわからない(44%)

聞いたことはあるが活動は知らない(45%)

内容によっては参加したい(51%)

参加したくない理由「時間がない」(25.7%)

期待すること ①地域課題の解決(15.7%) ②相談の場づくり(14.2%)

⑤子ども会議（令和4年8月22日 児童クラブに通う小学4、5年生）

・設問1：大石地区といえば〇〇

ゆりの里公園がある

文化財がある（汗かき地蔵、オニヒバ）【事前学習してきた】

大きな会社がある（親が働いている、良い製品）【親に聞いた】

・設問2：今回発見したこと

忠魂碑（戦争でたくさんの方が命を奪われた）

パイプライン（おいしいお米・管の大きさ・調圧水槽）

汗かき地蔵やオニヒバ以外にも文化財はある

会社や工場もたくさんある

・設問3：今、自分にできること

たくさんご飯を食べようと思う

大石にある会社や工場を勉強する

今日発見したことや大石の自慢をみんなに伝えたい

・その他

コロナ過で自宅と学校の往復？出歩くことが少ない

他の集落のことが全くわからない

クラスの友達がどこに住んでいるのか知らない

文化財を事前に勉強したが見たことがないし、場所も知らない

新たな学びに興味関心が高い

新たな発見には次々と質問する

知る喜び

それを他人に伝えたいと思っている

帰宅後、ネットで検索しているかも

⑥キーワードの整理（現部会ごと）

○花・環境

ポイ捨て

コウノトリ

○教育・文化

学校・PTAとの連携

子どもの遊び場

郷土愛の醸成

地区を知る（歴史・由来・集落・会社・工場 他）

子ども見守り

○健康・福祉

高齢者の移動手段

買い物・ゴミ出し

高齢者見守り

○安心・安全

通学路

サイクリングロード

空き家

○総務・広報

場づくり（相談・憩い 他）

人づくり（参加の方法がわからない人の巻き込み・若者の参画）

各種団体との連携

結婚

ゆりの里公園（白茎ごぼう）

集落の維持（役員 農業 他）

○その他

内発的動機付け（楽しいこと 自分の居場所・役割 地域貢献）

P D C A サイクルでの検証 見直し

まち協の役割と集落の役割

⑦まとめ（目指すべき方向）

ここまでに、大石地区の特徴や現状と課題はある程度整理ができた。この地区の特徴を活かしつつ、今ある課題を解決するための今後目指すべき方向性を示し、将来ビジョンのまとめとする。

○具体的連携事業の構築【短期目標】

- ・まちづくり協議会と各種団体とが各々の目標や活動を共有し、連携することでより良い効果を目指すため定期的な話し合いの場を設ける
- ・上記の話し合いで出された連携策を具体的事業提案にまとめるため、まちづくり協議会運営委員会の在り方を見直す
- ・運営委員会で提案された事業をもとに、次年度の計画や予算を作成し、必要に応じて組織の改編や規約の改正を行う
- ・集落の大小による課題の違いを理解し、まち協と集落の役割分担等を明確にする等、区長会と情報を共有し更なる連携を図る

○事業の評価とビジョンの見直し【短期目標】

- ・毎年、事業評価を行い、次年度に向けた事業内容のブラッシュアップや、必要に応じて事業の切り替え等を行う
- ・適正な事業評価を行うため、あらかじめ数値目標を設定し、定期的にアンケート等によりニーズや満足度を把握する
- ・社会情勢等の変化に対応し、このビジョンも定期的に見直しや拡充を図り、その時の最適な方向性を示す
- ・評価やビジョンの見直しについては、必要に応じて外部の有識者に協力を求め進める

○運営体制・人材育成【中期目標】

- ・内発的動機付け（楽しいこと 自分の居場所・役割 地域貢献）が獲得できる運営体制を構築し、仲間を増やす取り組みを行う
- ・誰もが気持ちよく活動できるよう、他者を認め共感できる運営体制を構築する
- ・若者の参画を進めるため成功事例を学び、この地区に落とし込む
- ・デジタル技術の活用等、社会情勢に合致する意識改革や、学ぶ意欲の醸成を図る

○ビジョンの拡大【中期目標】

- ・年度ごとの具体的事業効果を顧みて、5年程度先を見越した目標数値や実施計画の策定につなげる